



AQUOS sense8について

シャープのAQUOS sense8は、Android OSを搭載したAndroidスマートフォンです。同社の直販サイトではSIMフリー版が6万円弱で販売されており、価格的にはミドルクラスの端末といえます。

AQUOS sense8は、直販のSIMフリー版以外にもNTTドコモ、au、楽天モバイル、UQ mobile、J:COM MOBILEの各社から販売されています。本書の解説は、主にau版のAQUOS sense8を使って行い、NTTドコモ版を除いたau以下の各社、およびSIMフリー版に対応したものとなっています。

これらは、基本的な機能や操作は共通ですが、各社独自のアプリがインストールされていたり、楽天モバイル版は通話やSMSを「Rakuten Link」アプリから行ったりと、一部仕様が異なります。各社独自の仕様については、本書では紹介していないので、ご了承ください。

なお、AQUOS sense8は初期状態でダークモード（P.35参照）が設定されていますが、本書では誌面で画面が見やすいようダークモードを解除した状態で解説をしています。

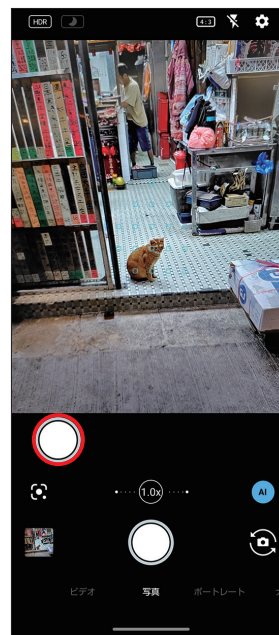


AQUOS sense8は、さまざまな携帯電話会社から販売されています。



AQUOS sense8の特徴

AQUOS sense8は、比較的コンパクトで持ちやすい大きさです。カメラ性能に力を入れており、ミドルクラスながら綺麗な写真を簡単に撮影できることが特徴です。背面のメインカメラは5030万画素と高精細で、写真では光学式手ブレ補正（動画は電子式）にも対応しています。また、カメラ操作は、シャッターボタンを押しやすい位置に移動できるフローティングシャッター機能が利用でき、セルフイー画面への切替えや、ビデオ撮影も片手でできるよう配慮されています。



「カメラ」アプリの写真撮影では、フローティングシャッター機能を利用することができます。



残像を軽減し、画面書き換え速度最大180Hz相当のなめらか表示を利用することができます。

各部名称を確認する

OS・Hardware



AQUOS sense8本体の各部名称を確認しておきましょう。なお、名称はau版のAQUOS sense8の記述を元としています。



1 ディスプレイ	8 イヤホンマイク端子
2 インカメラ	9 外部接続端子
3 受話口 (レシーバー)	10 スピーカー
4 音量UPキー／音量DOWNキー	11 モバイルライト
5 電源キー／指紋センサー	12 広角カメラ
6 サブマイク	13 標準カメラ
7 送話口 (マイク)	

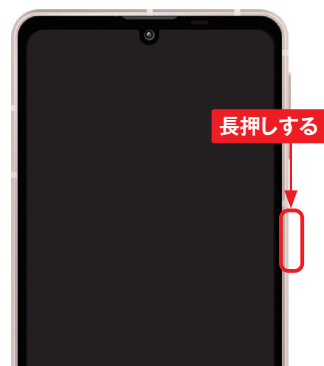
電源を入れる

OS・Hardware



AQUOS sense8の電源をオンにしてみましょう。購入したばかりの状態では、先に充電が必要な場合があります。なお、初めて電源をオンにした場合、初期設定画面が表示されますが、ここでは解説を省略しています。

- 1 電源キーを3秒以上長押しします。



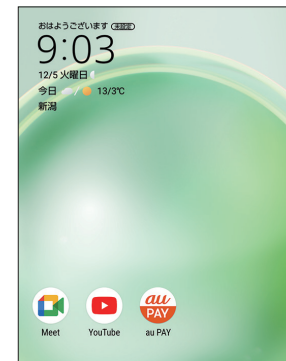
- 2 ログが表示されます。電源キーから指を離します。



- 3 ロック画面が表示されます。画面を上方向にスワイプします。



- 4 ホーム画面が表示されます。





ロック画面とスリープ状態

AQUOS sense8の画面点灯中に電源キーを押すと、画面が消灯してスリープ状態になります。スリープ状態で電源キーを押すと、画面が点灯してロック画面が表示されます。ロック画面で上方向にスワイプするか、暗証番号や生体認証を設定している場合は解除操作を行うと、ホーム画面が表示されます。



ロック画面には、時刻、通知、「カメラ」アプリの起動ショートカットが表示されます。通知をロック画面に表示しないようにすることもできます。

スリープ状態では画面が消灯していますが、設定によっては時刻や通知アイコンを一定時間表示することができます。

MEMO 画面が消灯するまでの時間を設定する

AQUOS sense8を操作せずに指定した時間が経過すると、自動的に画面が消灯してスリープ状態に移行します。スリープになる時間は、アプリ一覧画面で「設定」をタップして、[ディスプレイ] → [画面消灯] の順にタップすることで、15秒～30分の時間を選択できます。



タッチパネルの使いかた

AQUOS sense8のディスプレイはタッチパネルです。指でディスプレイをタッチすることで、いろいろな操作が行えます。ここでは、タッチパネルの基本操作を確認しましょう。なお、操作の名称はau版のAQUOS sense8を元としています。

タップ/ダブルタップ

画面を軽く叩くように、触れてすぐに指を離します。また、ダブルタップは素早く2回連続でタップします。



ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。項目によっては利用できるメニューが表示されます。



スライド/スワイプ/ドラッグ

画面に軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。



フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。



MEMO タッチパネルがうまく動作しない

ディスプレイに保護シールなどが貼ってあったり、水滴が付着していると、タッチパネルに指を触れても動作しない、または誤操作の原因になります。

ChromeでWebページを表示する



AQUOS sense8には、インターネットの閲覧アプリとして「Chrome」アプリが標準搭載されています。「Chrome」アプリを利用して、Webページの閲覧や情報の検索などが行えます。

Chromeを起動する

- 1 ホーム画面で をタップします。



- 2 「Chrome」アプリが起動します。初回は [〇〇 (AQUOS sense8 に設定したGoogleアカウント) として続行] をタップし、画面の指示に従って操作します。この画面が表示されたら、[検索またはURLを入力] をタップします。



- 3 WebページのURLを入力して、 をタップすると、入力したURLのWebページが表示されます。



MEMO Webページ表示中に別のWebページを表示する

Webページ表示中にほかのWebページを表示するには、画面上部の「アドレスバー」にURLを入力します。また、調べたい語句を入力すると、検索ができます。アドレスバーが見えないときは、画面を下方向にフリックすると表示されます。

Webページを移動する

- 1 Webページの閲覧中に、リンク先のページに移動したい場合、 をタップして、 をタップすると、前のWebページに進みます。



- 2 リンク先のWebページが表示されます。画面の左端から右方向にスワイプすると、前に表示していたWebページに戻ります。



- 3 画面右上の (「Chrome」アプリに更新がある場合は、 をタップして、 をタップすると、前のWebページに進みます。



- 4 をタップして をタップすると、表示ページが更新されます。



写真を撮影する



AQUOS sense8には、高性能なカメラが搭載されています。さまざまなシーンで自動で最適の写真や動画が撮れるほか、モードや設定を変更することで、自分好みの撮影ができます。

写真を撮影する

- 1 ホーム画面で  をタップします。



- 2 カメラを被写体に向け、シャッターボタンをタップすると、オートフォーカスで写真が撮影できます。



- 3 被写体をタップすると、タップした被写体にフォーカスが合います。AEアイコンをドラッグして露出を決めてから、撮影できます。別の場所をタップすれば、フォーカスを解除できます。



- 4 被写体をロングタッチすると、フォーカスや露出をロックすることができます。

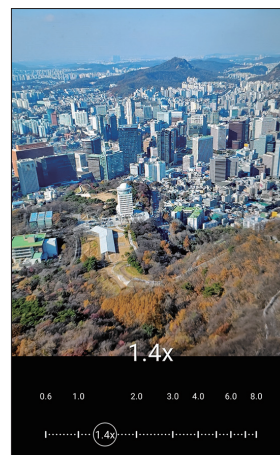


ズームを利用する

- 1 カメラを被写体に向け、画面をピンチ（ここではピンチアウト）します。



- 2 被写体が拡大し、下部に倍率が表示されます。シャッターボタンをタップすると、写真が撮影できます。



- 3 ズームは、画面下部の倍率部分を左右にドラッグすることでも行えます。



- 4 この方法の場合、ピンチよりズーム倍率を設定しやすくなります。



アプリを検索する

[Playストア]アプリ



Google Playに公開されているアプリをインストールすることで、さまざまな機能を利用することができます。Google Playは「Playストア」アプリから利用することができます。まずは、目的のアプリを探す方法を紹介します。

- 1 ホーム画面またはアプリ一覧画面で [Playストア] をタップします。



- 2 「Playストア」アプリが起動するので、[アプリ] をタップし、[カテゴリ] をタップします。



- 3 アプリのカテゴリが表示されます。画面を上下にスワイプします。



- 4 見たいジャンル（ここでは [ライフスタイル]）をタップします。



- 5 「ライフスタイル」のアプリが表示されます。人気ランキングの→をタップします。



- 6 「無料」の人気ランキングが一覧で表示されます。詳細を確認したいアプリをタップします。

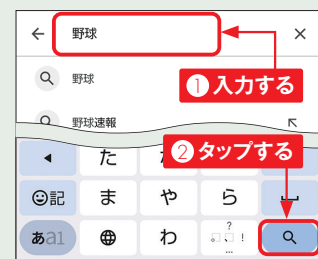


- 7 アプリの詳細な情報が表示されます。人気のアプリでは、ユーザーレビューも読めます。



MEMO キーワードで検索する

Google Playでは、キーワードからアプリを検索できます。検索機能を利用するには、P.108 手順2の画面で画面上部の検索ボックスをタップしてキーワードを入力し、キーボードのQをタップします。



「設定」アプリ

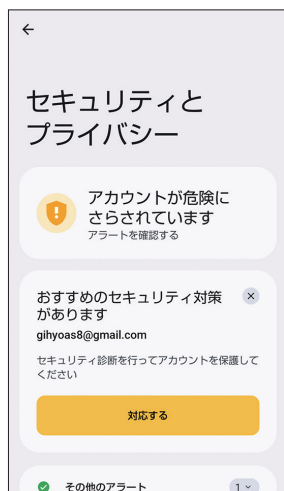
「設定」アプリを使う



「設定」アプリは、ユーザーの利用状況に応じて、表示される項目やカードが変わります。また、キーワードで検索した設定項目がハイライト表示になったり、未設定の項目をポップアップで表示してユーザーに確認を促します。

「設定」アプリのいくつかの画面では、ダッシュボードデザインが採用されていて、ユーザーの利用状況や設定状態が一目でわかるようになっています。たとえば、アプリの利用時間がグラフで表示されたり、設定のオン／オフがアイコンで表示されたりします。

● 「セキュリティとプライバシー」



設定しているセキュリティ項目により上部のアイコンの色とデザインが変わり、本体の安全対策がなされているかが一目でわかります。未設定の項目は、ポップアップで確認を促します。また、項目をタップして開かなくても、アイコンの表示で設定状態がわかります。

「設定」アプリ → 「セキュリティとプライバシー」

● 「Googleアカウント」



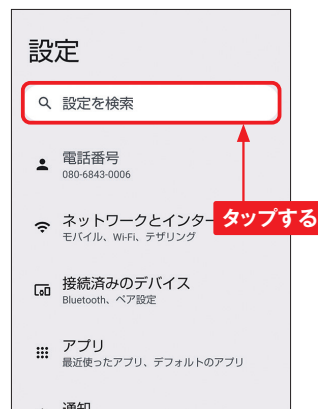
「データとプライバシー」タブでは、設定状態を確認するための「提案」が表示されたり、「診断」を行ったりすることができます。また、ユーザーの利用状況により、表示されるカードが変わります。オンにしているカードにはチェックが付いて、タップして開かなくても設定状態がわかります。

「設定」アプリ → 「Google」 → 「Googleアカウントの管理」

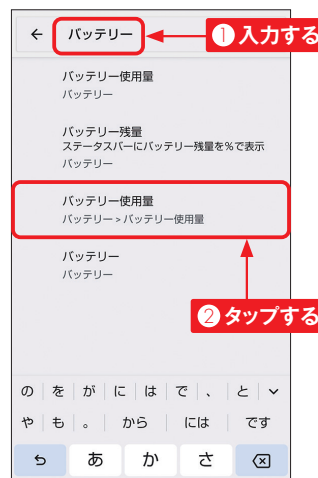
設定項目を検索する

「設定」アプリはカテゴリが多く、設定項目によっては階層が深いものがあります。すばやく設定項目にたどり着くために、キーワードで設定項目を検索するとよいでしょう。

- 1 アプリ一覧画面で「設定」をタップし、「設定を検索」をタップします。



- 2 設定項目に関するキーワードを入力し、候補をタップします。



- 3 選択した設定項目の内容が表示されます。



TIPS シャープのサポート情報を確認する

「設定」アプリの画面下部にある「お困りのときは」をタップすると、AQUOS sense8の製造元のシャープが提供するAQUOS sense8に関するよくある質問や、使いこなしガイドを確認することができます。

お困りのときは

よくあるご質問
サポートサイトの「よくあるご質問」へ

設定項目を検索
どこにあるかわからない設定項目を探す

おサイフケータイを設定する

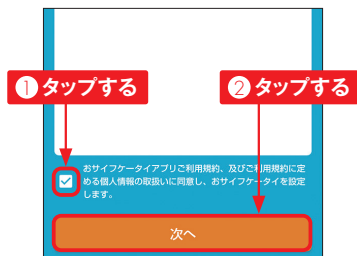


AQUOS sense8はおサイフケータイ機能を搭載しています。電子マネーの楽天Edy、nanaco、WAON、QUICPayや、モバイルSuica、各種ポイントサービス、クーポンサービスに対応しています。

- 1 アプリ一覧画面で、[おサイフケータイ] をタップします。



- 2 初回起動時はアプリの案内が表示されるので、[次へ] をタップします。続けて、利用規約が表示されるので、「同意する」にチェックを付け、[次へ] をタップします。「初期設定完了」と表示されるので [次へ] をタップします。



- 3 Googleアカウントの連携についての画面が表示されたら、ここでは [次へ] → [ログインはあとで] をタップします。



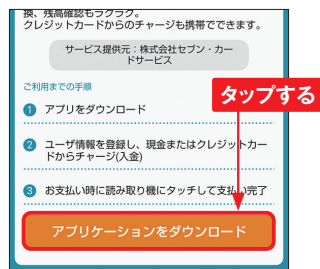
- 4 通知やICカードの残高読み取り機能、キャンペーンの配信などについての画面が表示されたら、画面の指示に従い操作します。



- 5 [おすすめ] をタップすると、サービスの一覧が表示されます。ここでは、[nanaco] をタップします。



- 6 「おサイフケータイ」アプリは、サービス全体を管理するアプリで、個別のサービスの利用には、専用のアプリが必要になります。[アプリケーションをダウンロード] をタップします。



- 7 「nanaco」アプリの画面が表示されます。[インストール] をタップします。



- 8 インストールが完了したら、[開く] をタップします。



- 9 「nanaco」アプリの初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って初期設定を行います。



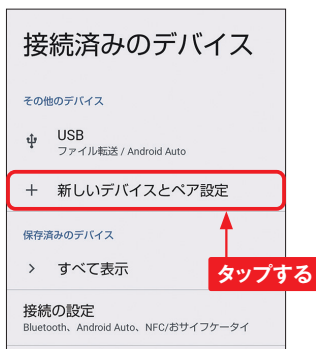
Bluetooth機器を利用する

[設定]アプリ



Bluetooth対応のキーボード、イヤフォンなどとのペアリングは以下の手順で行います。Bluetoothは、ほかの機器との通信のほかに、ニアバイシェアなどで付近のスマートフォンとのデータ通信にも使用されます。

- 1 接続するBluetooth機器の電源をオンにし、「設定」アプリで、「接続済みのデバイス」→「新しいデバイスとペア設定」の順にタップします。



- 2 接続するBluetooth機器名をタップします。



- 3 [ペア設定する] をタップします。ペアリングコードを求められた場合は、入力します。



- 4 Bluetooth機器が接続されます。なお、接続を解除するには、機器の名前をタップし、「接続を解除」をタップします。



MEMO NFC対応機器を接続する

NFC対応のBluetooth機器を接続する場合は、手順1の画面で「接続の設定」をタップし、「NFC」がオンになっていることを確認して、背面を機器のNFCマークに近づけ、画面の指示に従って接続します。

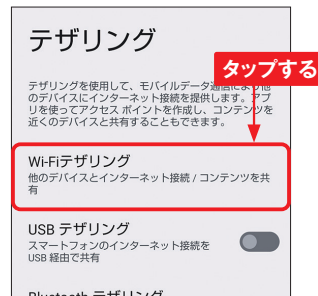
Wi-Fiテザリングを利用する

[設定]アプリ

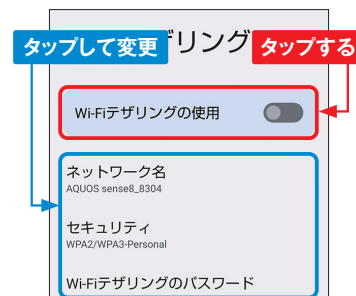


Wi-Fiテザリングを利用すると、AQUOS sense8をWi-Fiアクセスポイントとして、タブレットやパソコンなどをインターネットに接続できます。なお、Wi-Fiテザリングは携帯電話会社や契約によって、申し込みが必要であったり、有料であったりするので、事前に確認しておきましょう。

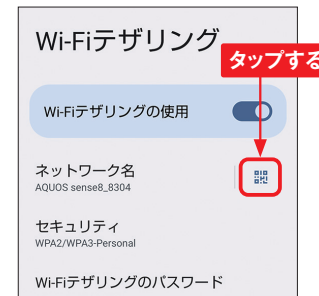
- 1 アプリ一覧画面で「設定」をタップし、「ネットワークとインターネット」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」をタップします。



- 2 「Wi-Fiテザリング」をタップします。なお、「ネットワーク名」「セキュリティ」「Wi-Fiテザリングのパスワード」の各項目は、タップして変更することができます。



- 3 確認画面が表示されたら、「OK」をタップします。Wi-Fiテザリングが利用できるようになります。「ネットワーク名」の右のQRコードアイコンをタップします。



- 4 アクセスポイント名やパスワード情報が記載されたQRコードが表示されます。これを他機器で読み取ることで、接続の際の入力の手間を省くことができます。



データ通信量が多いアプリを探す

[設定]アプリ



契約している携帯電話会社のデータプランで定められている月々のデータ通信量を上回ると通信速度に制限がかかることもあります。アプリごとのデータ通信量を調べることができるので、通信量が多いアプリを見つけて、対処をするとういでしょう。

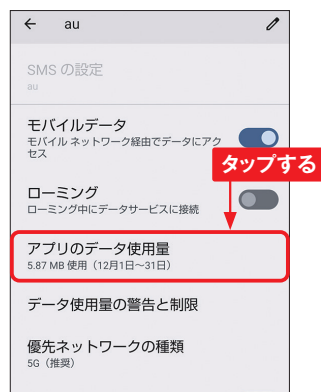
- 1 アプリ一覧画面で「設定」をタップし、[ネットワークとインターネット] → [Wi-Fiとモバイルネットワーク] をタップします。



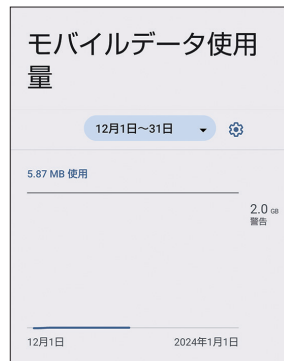
- 2 利用しているネットワーク名の設定アイコンをタップします。



- 3 [アプリのデータ使用量] をタップします。



- 4 データ通信量の多い順にアプリが一覧表示され、それぞれのデータ通信量を確認できます。



アプリごとに通信を制限する

[設定]アプリ

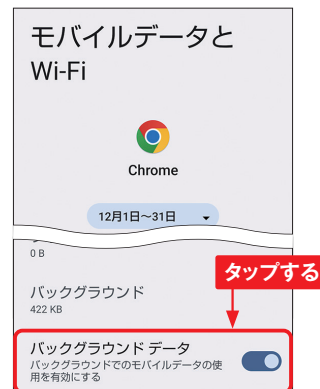


アプリの中には、使用していない状態でも、バックグラウンドでデータの送受信を行うものがあります。バックグラウンドのデータ通信はアプリごとにオフにすることができるので、データ通信量が気になるアプリはオフに設定しておきましょう。ただし、バックグラウンドのデータ通信がオフになると、アプリからの通知が届かなくなるなどのデメリットもあることに注意してください。

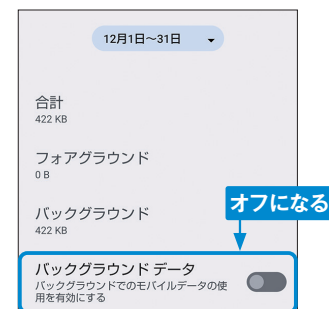
- 1 P.156手順4の画面で、バックグラウンドのデータ通信をオフにしたいアプリをタップします。



- 2 [バックグラウンドデータ] をタップします。



- 3 バックグラウンドのデータ通信がオフになります。



MEMO データセーバーを使用する

データセーバーを使用すると、複数のアプリのバックグラウンドのデータ通信を一括してオフにできます。データセーバーをオンにするには、P.156手順1の画面で [データセーバー] → [データセーバーを使用] の順にタップします。

データセーバーを使用